

農業遺産「山田錦」を次代へ 気候変動に負けない「型」

環(めぐる)プロジェクト

300年前の自然エネルギーの物語をつなぐ

2025年11月7日 農業遺産シンポジウム パネルディスカッション
神戸新聞社経営企画局専任部長 編集委員 辻本一好

自己紹介

- 農林水産、食、環境、エネルギー を長年担当

(編集委員)

- テロワール目線で食の遺産(山田錦、但馬牛….)深堀り連載、本
※「テロワール」は仏語。 産物の個性を形作る自然と人の営み

(論説委員)

- 「地エネと環境の地域デザイン協議会」(2019年~)
エネルギーの視点で地域や経営を捉えなおす「場」

(経営企画部専任部長)

- ローカルSDGsのものづくりの第1弾 日本酒「環(めぐる)」

呑むと地域の資源が回り出す 地球環境への負担を減らす もちろんおいしい !!



SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞

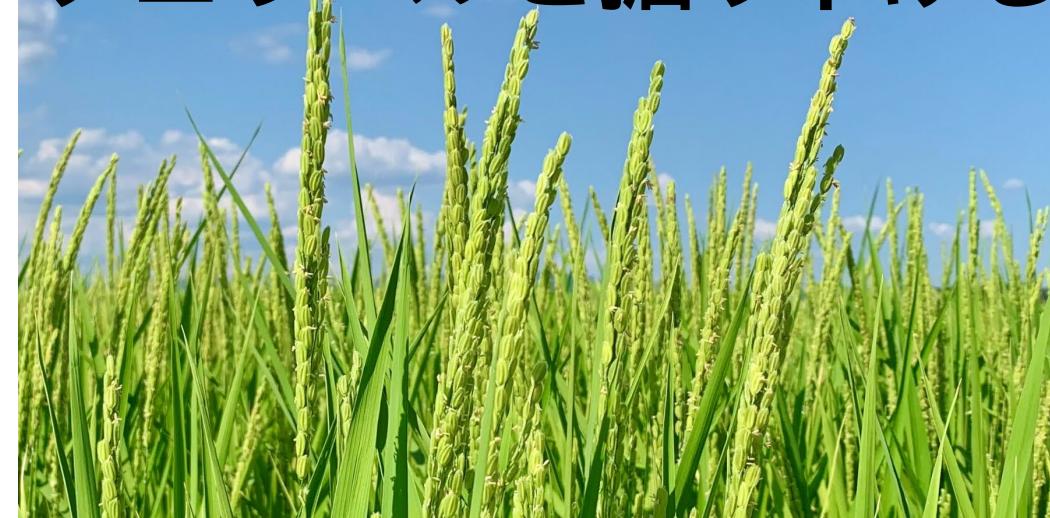
日本新聞協会 新聞経営賞



山田錦とは

- 90年経ても最高の素材
- 全国500の酒蔵が使用
- 神戸層群
- 東西の谷
- 14系統から種子選抜
- 六甲山北の酒米産地(特A地区)
- 六甲山南の酒造地(灘五郷)

テロワールを掘り下げる…



六甲山麓の大水車群
300年前の技術革新

源流は農産加工革命だった…

水車から飛躍した 日本酒文化



- ・神戸から西宮に270の精米水車
- ・高精米＆大量生産
8%(足踏み)⇒30%(水車)
設備の大型化&杜氏制度
- ・水の品質追求(宮水の発見)
- ・米の品質追求(酒米の始まり)
- ・六甲山北部に酒米大産地
- ・山田錦の誕生



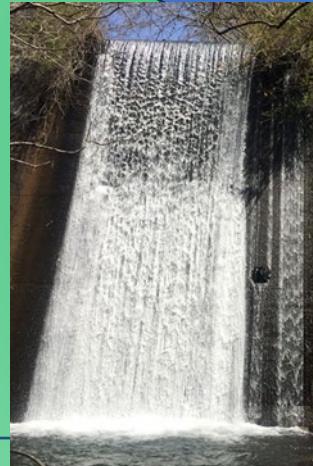
自然エネルギーによる技術革新とそのDNA
強まる温暖化の影響でピンチ
「300年前からの物語 次代につなげたい」

地工ネと環境の地域デザイン とは



新しい太陽エネルギー利用(自然エネルギー)

木(燃料) 草(飼料)



水力 食

昔からの太陽エネルギー利用(農林水産業)

食 肥料





きっかけは弓削牧場(神戸・六甲山)の悩み(ふん尿問題)でした

解決策は**バイオガス事業**。農・食のごみを発酵させて燃料に



自家製バイオガスで、給湯用ガスの半分を自給

発酵の副産物「消化液」、レストランの野菜の良質肥料になるが…



使いきれず、大半は廃棄。もったいない！他の使い先は？





「山田錦」の栽培に使うことで、「消化液」という地域資源を知らせる

気候変動に悩む酒米（山田錦）



求められる持続可能な日本酒の新しい「型」

- ・高温障害などによる不安定化
- ・「農業は温暖化要因」との批判
- ・化石燃料（化学肥料、農薬）依存
- ・サステナブルな酒を求める海外



廃棄される有機物



農業



食品



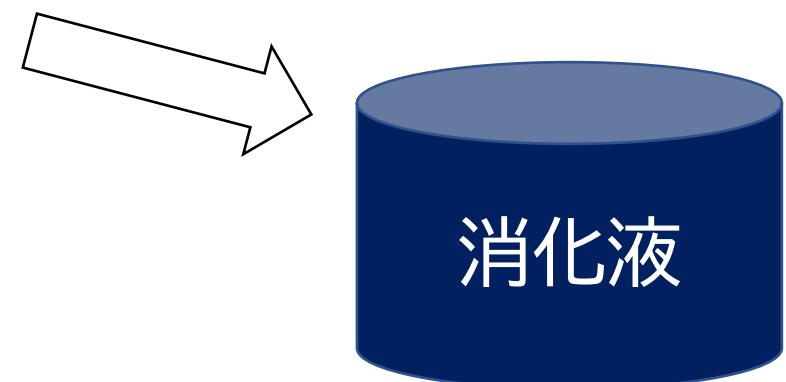
下水道

嫌気発酵(密閉、無酸素でメタン菌発酵)



バイオガス

給湯、発電に利用



消化液

微生物豊富な液体肥料、
海の栄養
ほとんど捨てている



自家製バイオガス
燃料を半分自給



牧場と店のごみを発酵
バイオガスと消化液に



最高峰の酒米
山田錦を栽培



輸入肥料やめ
無農薬、減農薬



稲づくりの
エネルギー半減

「環」のサイクル 農業は循環のエンジン



「環」を呑んで資源を回し、脱炭素



七つの酒蔵が
純米吟醸酒に



豊倉町営農(加西市)は、冬期湛水 + 消化液で「トロトロ層」作戦



土は肥え柔らかく 3回の耕運と肥料不要

稻作のエネルギー半減

農業遺産 地域メディアとして 「環」の取り組みから

- 地域の貴重な個性、歴史とつながる極上のコンテンツ
- 「特別の価値」が、地元でもあまり認識されてこなかった
- 「農業遺産」の旗印ができて、テロワールを深堀り、価値を共有しやすく
- 「農業遺産」の旗印の下、意欲ある人、企業と新たな物語をつむぐ

農業遺産 企業が地域で活動するメリット

環の取り組みから

- ・食の地域資源の再構築にかかるチャンス
高齢化・気候変動対策、地域活性化、製品開発、人材育成
- ・地域、行政、業界にできない役割、立ち位置を得る
- ・農業遺産を支えるプレーヤーとして世界に発信
- ・世界を魅了する食文化の新しい物語の紡ぎ手に